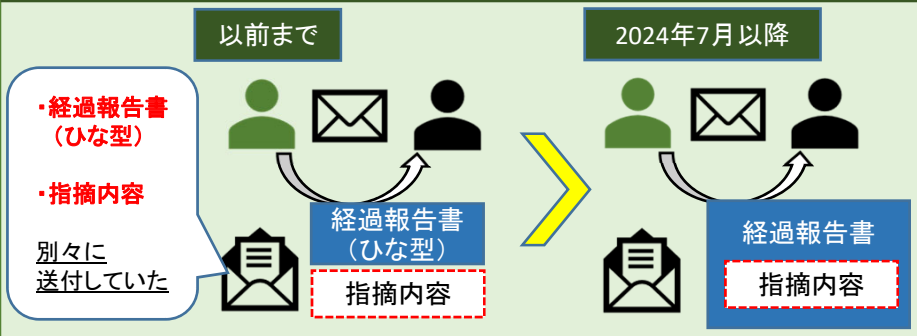


【お知らせ】防災評定委員会前の経過報告書作成時の手順変更

防災評定専門部会（下見）の際に委員から挙がる指摘事項を所定の経過報告書に転記していただく必要がなくなりました。

GBRCからお客様へ委員会下見の指摘送付(委員会の1週間+2営業日前)



経過報告書

No.	指摘及び検討事項 (質問等を含む)	回答及び処置 (添付資料)	ページ
1	防災センターには原則自然排煙を確保してください。		P6
2	緊急避難を明示してください。		P5
3	基準階下の排煙窓の寸法を極力大きくしてください。		P16, 17
4	排煙 OP の位置をもう少し避難階段付近に移動できませんか。		P17
5			添付
6			P
7			PC
8			PC
9			PC



お客様

- ・指摘内容を転記するのは時間がかかる
- ・誤記や転記漏れが不安

【以前まで】

経過報告書と指摘内容を別々に送付していたため、お客様に指摘内容のデータから経過報告書に転記していただいていた。

【2024年7月以降】

指摘内容が既に記入されている経過報告書を送付いたします。



GBRC



お客様

転記する時間が削減できてとても助かりますね！

【避難計算解説 vol.19】

避難計算上の有効な避難扉幅について

避難に使用する避難扉には主に片開き扉、親子開き扉、両開き扉の3種類がありますが、下図のように親子開き扉、両開き扉でフランス落としがある場合は、実際に通行ができる片扉分（親扉分）のみを避難有効幅とする必要があります。

なお親扉開放時に子扉も自動で追隨して開放されるフラッシュボルト式（自動フランス落とし）の扉とする場合は扉全体を避難有効幅として考えることが可能です。

親子開き扉



両開き扉



フランス落としがある場合は、赤枠部分のみを避難有効幅とする



フランス落とし

避難計算に余裕がない場合は扉全体を有効幅にできるフラッシュボルト式の扉をご確認ください



【ご紹介】YouTubeチャンネル GBRCシアター

チャンネル登録者数400人突破！！

GBRCシアター」がチャンネル登録者数**400人**を突破しました。是非、チャンネル登録をお願いいたします！

最近の投稿内容

2024年6月からは、皆様にこれまで以上に見ていただきやすい動画とするために動画のデザインと冒頭部分をアップデートしました。是非、一度ご覧ください。

最新の8月投稿動画では防災計画
上重要な「誘導灯」についてわかりやすく解説しています。



[チャンネルページへ](#)

◇ YouTube Short を始めました！ ◇

「YouTube Short」とはYouTubeが提供する、60秒より短い動画を発信するサービスです。GBRCシアターのShort動画を見ていただくことで、投稿月の動画内で紹介する疑問点を気軽に確認することができます。

Short動画を見て内容が気になった方は本編の動画をご覧ください。



毎月第2水曜日に投稿

発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所建築確認評定センター

性能評定課 防災G

TEL: 080-8303-3873(中野) 、080-8303-3872(長野)

080-8303-3874(前山)

E-mail: seinou4@gbrc.or.jp



【ご紹介】委員会スケジュールについて

今後の委員会日程は下記のとおりです。
HPにも掲載しています。

HP(委員会日程)

		9月	10月	11月	12月
防災計画 評定委員会	小規模共同 住宅委員会	6	3	5	4
	本委員会	20	21	21	19

		9月	10月	11月	12月
避難・耐火性能評価 委員会		27	18	22	20

(※2024/08/31現在)

【編集後記】

この前の休日、昨年から引き続いてとある地域の小学校の夏まつりに運営側として参加してきました。

私はお好み焼き(広島焼)の食材準備を担当することになり屋台テントの中で約500人分のお好み焼きのためにひーこら言いながら昼過ぎから奔走。しかも当日は気温が37℃超の炎天下で身体的は悲鳴を上げ続けていました。

ただ不思議なことに初参加であった昨年よりもずっと身体を動かせることに気が付いて「しんどいことであっても一度経験してしまうと人間慣れてしまうものなんだなあ」と意外なところで学びを得たとある休日でした。



記：長野